

北九州市民の会ニュース

平和ネットが19日街宣行動



JR小倉駅前街頭宣伝を行うメンバーの皆さん

集団的自衛権の行使などを認めた「安全保障関連法」(戦争法)が、多くの反対世論を押し切って強行採決された9月19日から8年が経過しようとしています。

「戦争法」強行採決から8年

この間、自公政権は、防衛装備庁の発足、2016年には防衛費の当初予算が初めて5兆円を突破、駆けつけ警護の閣議決定、共謀罪や土地等調査及び利用規制法の成立、そして、安保三文書の閣議決定など、国民生活を顧みないばかりか市民の権利剥奪と監視を強化し、戦争ができる国づくりを着々と進めてきました。

私たちは民主主義が否定された9.19を忘れず、安全保障関連法をはじめとする悪法の廃止と憲法改悪阻止を強く訴えます！

「平和をあきらめない北九州ネット」は、小倉駅と折尾駅で街頭宣伝行動をしました。

市民の会・区民の会合同会議

区民の会の活動を議論

9月20日(水)10:00～11:30、市民の会・区民の会合同会議が開かれました。

参加された区は、戸畑区、八幡西区、若松区、小倉北区、小倉南区の責任者。欠席は、門司区と八幡東区。市民の会事務局は5名参加、総勢10名で熱心な討議がなされました。確認した事項は下の囲みの内容です。

次回の市民の会・区民の会合同会議は11月15日(水)10:00～11:30、戸畑生涯学習センターで開催します。



JR小倉駅前街頭宣伝を行うメンバーの皆さん

- ① 各区の区民の会は、市長選後は、ほとんど活動が取り組まれていない。
- ② 「学校給食の無償化をめざす会」の活動に参加していく。
- ③ どのように参加していくかは、各区の自主性に任す。
- ④ 「高齢者福祉乗車券」の実現を求める署名活動を継続する。
タクシー会社訪問で署名はとれる(戸畑の経験)。

市民の会・第 34 回幹事会で基本・活動方針を採択

9 月 26 日 (火)、幹事会が開かれ熱心に討議し、4 つの基本方針と 6 つの具体的活動方針が採択されました。

<基本方針>

- ①国の悪政（大軍拡・大増税）に NO！と言える市長を実現し、住民本位の市政をつくるために奮闘します。
- ②北九州市政について、継続的に学び、科学的に分析し、そこで得た情報を共有して活動します。
- ③市政を変えるのは、市民の要求運動です。市民要求を汲み上げ、運動化し、議会闘争を通じて、市政の改善につなげます。
- ④市長選で「笑顔と希望の会」が掲げた政策の実現に引き続き取り組んでいきます。



<具体的方針>

- ①「学校給食の無償化をめざす会」の運動を、子育て世代が核になるように展望して進め、必ず無償化を実現させるよう活動します。
- ②高齢者補聴器購入助成制度の創設を目指し、「仮称・高齢者補聴器購入助成制度の創設を求める会」の結成に向けて、諸準備を進めます。
- ③高齢者福祉乗車券の実現を求める署名運動を継続します。
- ④「公共施設マネジメント」の推進に反対し、「住民合意」の街づくりをめざします。
- ⑤各区の街づくりを中心に、「区民の会」活動を充実・発展させていきます。
- ⑥日常的な広報活動を充実していきます。そのために、ホームページは、日々更新していきます。市民の会ニュース月 2 回の発行と月間ニュース発行を継続します。機関紙「くらしと福祉」を充実させ、読者数を増やします。

「平和のための戦争展 in 北九州」第 8 回実行委員会開かれる

2 日間で約 400 人が来場し大成功

9 月 27 日 (水)、今年の戦争展の総括会議となる第 8 回実行委員会が開かれました。

参加した実行委員に①実行委員会報告書、② CD：伊藤千尋講演、③ CD：その他全体企画が手渡されました。今年の参加者はパネル展示会場の 2 日間で 218 人、企画イベントでは 186 人が参加し、延べで約 400 人が戦争展に参加し、大成功を収めました。

パネル展示会場では、「平和資料館・原爆パネル・広島原爆写真集・重慶・福岡県反核医師の会・村瀬守保中国戦線従軍・中学生のための従軍慰安婦展・北九州市にあった捕虜収容所・日本の大軍拡・ウクライナ問題・南西諸島の軍事基地化と辺野古の今」の展示をおこないました。

19 日企画イベントとして、こどものひろば会場で、平和のうたごえ、伊藤千尋氏講演「安心して暮らせる日本、世界へ ～ 戦争準備より平和の確立を」、村田さち子さんの戦争体験の語り、青年の主張として永井夫婦から報告と参加者との討論をおこないました。

戦跡めぐり（小倉～門司編）は、8 月 26 日 13 時から 19 人の参加者で実施しました。



戦争展当日の講演会などをまとめた DVD と資料

